

(様式3号)

農業主導型6次産業化支援整備事業点検評価書(平成22年度分)

地方農政局等名
農林水産省経営局

6次産業化法人の名称	設立年月日	代表者名	構成員数
株式会社高橋牧場	平成22年4月16日	高橋 守	2名
主たる事務所の住所	北海道虻田郡ニセコ町字曾我857番地2	TEL	セキュリティに配慮し、 非公開といたします。
		FAX	

1 事業の実施状況に対する所見

<p>[取組状況について] 平成22年度は、東日本大震災に起因する資材入手難による工事の遅れにより、農畜産物提供施設(農家レストランとマルシェ)の整備を行うのみにとどまった。平成23年度から本格的に開業している。</p> <p>[経営状況、事業による変化等について] 施設の開業が平成22年度中に間に合わなかったため、本事業による変化はみられないが、既存事業の売上も、北海道全体の観光客入込み数の減少や修学旅行の動向の変化、乳価の値下げ等により減少しており、前年度より経済環境は厳しい状況である。</p>
--

2 成果目標の達成状況に対する所見

項目	所見
(所得の向上に関する目標) 売上高について	農畜産物提供施設の開業が平成23年度に繰り越したため、平成22年度の売上高に当事業分は反映されていない。これに加えて、既存事業の売上が減少したことにより、平成22年度の目標を達成できなかった。
(雇用の創出に関する目標) 雇用者の増加	農畜産物提供施設の開業が平成23年度に繰り越したため、平成22年度の目標を達成できなかった。
(地域の活性化に関する目標) [地元農家からの野菜の調達による原材料費の増加]	農畜産物提供施設の開業が平成23年度に繰り越したため、平成22年度の目標を達成できなかった。

3 施設等の利用状況についての所見

<p>[農畜産物提供施設の利用状況について] 平成22年度は、東日本大震災に起因する資材入手難による工事の遅れにより開業が間に合わなかったため、利用実績はない。</p>
--

4 6次産業化法人と連携法人の取引状況についての所見

--

5 改善措置等に対する所見及び指導内容

(1) 成果目標について

<p>[売上高の増加] 乳牛の頭数増加による乳価値下げの影響の解消、農家レストラン開業の相乗効果によるミルク工房(自己整備)の売上高の増加、本州での積極的な催事参加、ネット販売のツールの強化等、売上増加に向けた取組を行っている。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。</p> <p>[雇用者の増加] 平成23年度の施設の開業後は、目標を上回る49名の雇用者となっており、平成23年度は目標を達成できる見込みである。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。</p> <p>[地元農家からの野菜の調達による原材料費の増加] 平成23年度の施設の開業後は、順調に地元農家から調達している。今年度の秋からディナー等の取扱いを開始することにより、さらに増加が見込まれ、平成23年度は目標を達成できる見込みである。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。</p>
--

(2) 施設等の利用状況について

<p>平成23年度の施設の開業後の売上は、順調に推移している。また、8月からマルシェの開催、秋からディナーの取扱いを予定しており、年間のランチの売上を併せると、平成23年度の目標達成は可能であると考えられる。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。</p>
--